

第13回御所市地域公共交通会議

議事報告

日時：平成26年3月24日（月） 14:00～16:00

場所：御所市役所本館3階 会議室

（奈良県御所市1番地の3）

1. 開会

宮谷会長が挨拶を行った。

2. 近鉄御所駅前広場整備について [資料1]

事務局から、平成25年度に始めた駅前広場整備基本構想案検討の件について、スクリーンに計画平面図を映写しながら説明を行った。構想案は複数用意し、平成26年度に関係団体と協議すると報告した。（警察・タクシー会社関係が欠席されたため意見をお聞きすることができなかった。）

3. 臨時観光バス運行事業の実施報告について [資料2]

4. 臨時観光バス運行事業について [資料3]

平成25年10月から行った臨時観光バス運行事業について、平成24年度と比較して乗車人数が半減したことを報告し、半減した原因を考察したが走行させる時期が遅かったのではないかという見方ができるので、平成26年度では平成24年度と同時期で走行させるという意見でまとまった。

5. 路線バスの課題について [資料4]

平成24年10月に、県中南部を走る路線バスの25路線が市からの支援なしでは維持することが困難であるとの申し入れが奈良交通株式会社よりあり、現在、県が調整役となってこれからの路線バスのあり方を模索中である。県の楠本係長が当日持参していただいた資料について簡単にお話しになり、指標を作成し路線別に検討会議を行い平成26年6月に最終的にどうするかを意思表示する段取りの旨を説明された。

御所市としては、八木御所線については廃止もやむを得ない、また近鉄高田駅五條バスセンター間の路線については便数などを精査しつつ存続と考えていることを表明した。

6. 新たなコミュニティバス路線の検討について [資料5]

事務局から平成25年度に委託したコミュニティバスの交通調査の一時報告を行った。利用状況がかなり少なく前回調査と比べても減少傾向は止まっていない。検討するにあたり、アンケート調査を全域から抽出する形で行ったが、バス停が新設されたら利用すると回答した方は24%にしかならなかった。またコミュニティバスを走らせることに投じることのできる税金については1000万円までが45%、1000万円より多くてもよいが24%であった旨を報告した。

また今会議では、地元から要望のあった新設バス停（柏原中方、小林、東コースの風の森バス停）、東佐味の細い危険なルートからかもきみの湯から東にできた新設道路へのルート変更について、考えて良いかのお話しをさせていただいた。実施時期は平成26年10月を目指したい。今度の御所市地域公共交通会議において協議が整った後約1ヶ月で許可されるであろうとの近畿運輸局奈良運輸支局 濱田専門官のお話であるが、警察関係が今会議に欠席されているので協議していかないといけない旨の指示も、奈良交通（株） 八伏次長よりあった。

コミュニティバスのあり方について、調査の反映についてはまだできていないと報告した。御所市としては、バスをダウンサイズして今まで走れなかった道路をルートにしたり、最終的にはデマンド交通もしなければならぬか考えている、と報告した。

7. その他

なし

8. 閉会

すべての議事を終了し、閉会した。